


カルボプラチンとエトポシドの治療を受けられる方へ

患者氏名 (@PATIENTNAME) 様

担当医師()

担当看護師()

病日経過	治療前	年 月 日	2日目 /	3日目 /	4日目 /	5日目 /	6日目 /	7日目 /	8日目 /	9日目 /	10日目 /	11日目 /	12日目 /	13日目 /	14日目 /	
		点滴日														
達成目標	◆薬剤の説明を受け、理解することができる	◆治療、副作用について理解できる ◆副作用が早期に発見できる ◆安全な点滴ができる	◆副作用が早期に発見できる	◆発熱がない ◆副作用が早期に発見できる ◆感染予防対策の必要性が理解できる				◆副作用が早期に発見できる ◆退院後の治療や注意事項が理解できる								
治療・薬剤		デキサート+アロキシ30分、エトポシド2時間、カルボプラチン1時間半、生食5分で点滴します。デキサート開始時にアプレピタントカプセルを内服します。	デキサート30分、エトポシド2時間、生食5分で点滴します。朝食後にアプレピタントカプセルを内服します。													退院後について不安なことがあればいつでも相談してください。
検査	・検査がある場合、前日に説明があります。	抗がん剤投与時に心電図モニターを装着します。	適宜検査が入ることがあります。	採血 レントゲン					採血					採血 レントゲン		
安静・活動		お薬が血管外に漏れないように点滴中は安静にしましょう。	特に制限はありません。													食事で困ることがあれば、いつでも栄養科に相談いたします。遠慮なくスタッフにお伝えください。
栄養			特に制限はありません。ただし、治療食の指示がある方は、治療食になります。													
清潔	制限はありません。	入浴は控えましょう。体拭きをお手伝いします。	特に制限はありません。ただし、熱があるときには、入浴は控えましょう。													
排泄			特に制限はありません。													
教育指導説明	・治療前に薬剤師より薬の説明があります。 ・看護師より口腔ケアについて説明があります。 ・副作用チェックシートを活用しましょう。看護師が確認を行います。 ・疑問や不安な点がありましたら、スタッフにお伝え下さい。	☆治療による副作用 白血球減少 白血球が下がると、感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。好中球減少にともなって熱が出ることもあります。										《退院後について》 ・左の副作用については、退院された後も副作用チェックシートを活用しましょう。 ・退院後も口腔ケアを心がけましょう。 ・外出時はできるだけ人ごみを避け、マスクを装着しましょう。また、帰宅時は手洗いうがいをし、感染予防に努めましょう。 ・副作用症状がみられた場合や気になる症状が現れた時は、すぐに病院に連絡し、医師の指示を受けましょう。				
		血小板減少 血小板が下がると、出血しやすくなって手足に赤い点やあざが出たり、鼻出血することがあります。										・次回外来受診について説明を行います。 次回外来日： 月 日				
		吐き気、食欲不振 食欲低下や、吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。														
		口内炎 口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にいきましょう。														
		倦怠感 疲れる、だるい、身体が重いといった症状が現れる事があります。無理せず体を十分に休め、体力を保つようにしましょう。														
		しびれ 手足のしびれが現れることがあります。手足の感覚が低下しているので、傷や打ち身に注意してください。転びやすくなるので、サンダルや底の厚い靴は避けましょう。														
		便秘 水分を十分にとりましょう。便秘薬を使用しコントロールを行っていきましょう。														
		脱毛 髪だけでなく、まつげやまゆげをはじめ全身の体毛でも脱毛がみられることがあります。														
		* 上の表は副作用の出やすい時期の目安を表示しています。必ずこの通りになるとは限りません。矢印のないものは2週間後など出現時期の遅いものです。 * 上記以外の副作用が出現することがありますので、気になることがありましたらスタッフへお知らせください。 * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。 * 気になることがあれば、看護師か医者が薬剤師にお知らせください。														
		* エトポシド、カルボプラチンは血管外に漏れると、炎症を起こしやすい薬剤です。点滴中に針が入っている部位が痛くなったり熱くなったらすぐにスタッフに知らせてください。またエトポシドは3日間投与するので点滴の針を抜かずに過ごしていただくことになります。そのため2日目、3日目は点滴のトラブルが起きやすくなりますので注意が必要です。出来るだけ触らずに、痛みや赤みなどの異常を感じたらすぐにスタッフに知らせてください。 * 点滴中、急に息苦しくなったり、胸が苦しくなったり、吐き気がするなど、少しでも気分が悪くなったら、我慢せずスタッフにすぐ知らせてください。														


タグリツソの治療を受けられる方へ

患者様用入院診療計画書

患者氏名(@PATIENTNAME)様

担当医師()

担当看護師()

病日経過	治療前	年 月 日 服用開始日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目		
達成目標	◆治療、副作用について理解できる ◆確実な内服ができる ◆副作用が早期に発見できる																
治療・薬剤																	
検査	・検査がある場合、前日に説明があります。	採血、レントゲン撮影 心電図検査		適宜検査が入ることがあります。				採血 レントゲン 心電図検査		適宜検査が入ることがあります。				採血 レントゲン 心電図検査			
安静・活動				特に制限はありません。													
栄養				特に制限はありません。ただし、治療食の指示がある方は、治療食になります。													
清潔				特に制限はありません。ただし、熱があるときには、入浴は控えましょう。													
排泄				特に制限はありません。													
教育 指導 説明	<p>・治療前に薬剤師より薬の説明があります。</p> <p>・看護師より口腔ケアやスキンケアについて説明があります。</p> <p>・治療日誌をつけましょう。看護師が確認を行います。</p> <p>疑問や不安な点がありましたら、スタッフにお伝え下さい。</p>	<p>・このお薬を服用中に風邪のような症状(息切れ、呼吸がしにくい、咳及び発熱等)が現れた時は、間質性肺炎の副作用が出現している可能性があります。早急に対処が必要です。必ず看護師にお知らせください。</p> <p>・動悸、めまい、ふらつき、気を失うなどの症状が現れた時はQT延長という心電図検査で見つかる副作用の可能性がります。医師の診断で定期的に心臓の働きを調べるための心電図検査を行うことがあります。</p>	✳治療による副作用														
			発疹	発疹が、主に顔や上半身などに現れます。また皮膚の乾燥や痒みが現れます。予防的に保湿剤を使用し皮膚の保清に努めましょう。発疹が現われた際は皮膚科に診察依頼し、塗り薬で対応します。													
			下痢	下痢がある場合は、水分補給を十分に行い、早めにお知らせください。整腸剤や下痢止めを使って対応します。													
			爪の障害	爪周囲が赤くはれて激しく痛むことがあります。爪周囲に変化があれば早めにお知らせください。													
			悪心・嘔吐	食欲低下や吐き気がするがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分をとりましょう。													
			肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。													
			口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。													
			倦怠感	疲れる、だるい、身体が重いといった症状が現れる事があります。無理せず体を十分に休め、体力を保つようにしましょう。													
			血球減少(白血球、血小板、赤血球)	白血球が下がると感染しやすくなりますので手洗い、うがいを心がけましょう。血小板が下がると出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯茎から出血することがあります。赤血球が下がると、貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。													
			 <ul style="list-style-type: none"> * 上の表は副作用の出やすいものを表示しています。必ずこの通りになるとは限りません。 * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。 * 気になることがあれば、看護師か医者にお知らせください。 * このお薬は毎日続けて飲むことが大切です。毎日時間を決めて、忘れずに飲むようにしましょう。 														

退院後について不安なことがあればいつでも相談してください。

食事で困ることがあれば、いつでも栄養科に相談いたします。遠慮なくスタッフにお伝えください。

